



Ⅲ 暮らしに根ざした資源循環の重点取組

プラスチック資源循環の推進

基本的な考え方

- 3R+リニューアブルの徹底
- 適正処理の確保
- マテリアル・ケミカルリサイクルの優先
- 焼却時の発電・熱利用の徹底
- ライフサイクル全体での資源循環・環境負荷軽減
- 自主的な取組促進による行動変容

中長期的な方向性

- **長期的な方向性（2050年）**
カーボンニュートラルに寄与する資源循環の促進
- **中長期的な方向性（2030年）**
現状の廃棄物処理に係る社会的インフラを活用しつつ、プラスチックの使用削減・資源循環にかかる取組を加速

重点的に取り組む事項

- プラスチックの「**使用削減+焼却量削減**」
- **ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム**の展開

プラスチック対策に係る指標【2030年度】（2020年度比）

区分	指標	進展の目安
一般廃棄物	排出量を 8%削減	・市町が回収する前の排出削減（リデュース）
	焼却量を 4割削減	・市町の分別収集による再生利用（リサイクル） ・2030年までに容器包装の6割リユース・リサイクル ・焼却施設におけるCO ₂ 排出量の削減
産業廃棄物	排出量を 8%削減	・排出事業者の排出削減（リデュース）
	焼却量を 3割削減	・再生利用（リサイクル） ・焼却施設におけるCO ₂ 排出量の削減

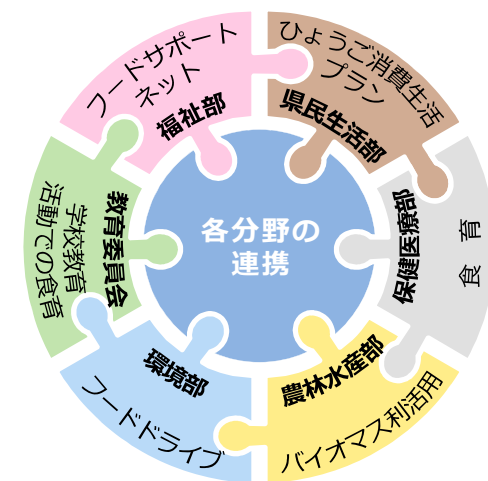
食品ロス削減対策の推進（兵庫県食品ロス削減推進計画）

基本的な考え方

- 食品ロスの削減
- 食品廃棄物の再生利用促進

今後の方向性

- 食品ロスの理解と関心を増進する教育や普及啓発
- 生産、製造、販売等の各段階における食品ロス削減取組を推進
- 表彰等の食品ロス削減に取り組むインセンティブ検討
- 調査研究の推進、情報の収集及び提供
- フードドライブ等の未利用食品を提供する活動の支援・DXを活用したマッチングを推進
- 食品廃棄物をバイオマス資源として活用・再生利用促進



サステナブルファッションの展開

基本的な考え方

- 衣服の「適量発注・適量生産・適量購入・循環利用」へ転換
- 衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスでの持続可能性を確保し、地球環境や人・社会に配慮した取組を促進
- 衣服を製造・販売する企業と使用する生活者双方の行動変容を促進

今後の方向性

- 2Rの加速化
- ラベリングや情報発信の促進
- 環境配慮設計の促進
- 衣類回収システム構築・リサイクル技術の高度化

